



2023年 1月 1日発行

ナイス連のみなさま、明けましておめでとうございます。

ご承知のように今年は卯年（うとし）、いわゆる兎（ウサギ）年で、十二支では4番目に数えられます。

そして卯は、時刻でいえば午前5時から7時までの2時間を、方角でいえば東をさします。

また、今年の干支は「癸卯（みずのと・う）」です。

干支の組み合わせは全部で60通りありますが、その40番目です。癸は、甲乙で始まる十干（じっかん）の10番目で、「植物の種子が大きさを測れるまでになった状態」を意味します。

# 迎春

さてウサギというと、どんなイメージをもたれるでしょうか。

生態としてはウサギは草食動物で、警戒心が強く、早朝や夕方に活発に活動します。

そのイメージとしては、おとなしい、かわいい、小心者、臆病、あるいは悪賢い、

愚か……などなど、実に幅広いのではないかと思います。

それから、ウサギには「跳ねる」という特徴があるため、卯年は景気が良くなる年ともいわれています。ちなみに、前回の卯年は、東日本大震災と原発事故に見舞われた2011年です。

この年の日経平均株価は、年初は1万円を超えていましたが、年末には8千円台半ばまで大きく下げました。

はじめにも紹介しましたが、卯の刻は午前5時から7時までの2時間をさします。

まさに、日の出とともに1日が始まる時間帯です。夜が明けて新しい1日、1年が始まり、

ウサギが跳ねるように株価も上がって、日本経済も私たちの会社も力強く成長していく、そんな1年になるといいですね。

まだまだ油断はできないものの、コロナ禍もようやく出口が見えてきたようです。引き続き感染防止に留意しながらも、ぜひ高い目標に向かって飛躍する1年にしましょう。みなさんの活躍を期待しています。

# 癸卯

仲圀巢連 連長  
川辺 礼子

## ナイス連は2023年1月21日、22日にオール堺勉強会に参加します。

### ■ナイス連の振り返り／「昨日・今日・明日三部作」の完成

2019年に新設されたフェニーチェ堺の「柿落とし公演」として、当時の堺すずめ踊り協賛会の全祭連が揃って同じ舞台ですずめ踊りを披露したことがまるで昨日のこのようです。その後協賛会が解散してコロナ禍が世界中を襲う中、いくつものすずめ踊りの祭連が解散していき、残った祭連は「市扇雀」、「響」、「勇舞雀」、「光組」と私たち仲間（ナイス）連の5つだけになってしまいました。

そんな中で私たちは2021年3月27日に、継続することの喜びをお伝えするためにフェニーチェ堺を使って、これまでの振り返りの「祭連創設15周年記念公演」を行いました。

続く11月23日にはこれもフェニーチェ堺で「堺市功績者受賞記念公演」を行うことが出来ました。すずめ踊りの祭連としてはただ一つ、功績者表彰をいただいたことに感謝です。ここで私たちはナイス連の地域興しの新しい活動として、大鳥大社での連歌会創設を提案したことを思い出します。

平成17（2005）年以来、地道な笑顔の活動が公の場で広く認められたのも、私たちに暖かく見守って下さった多くの後援会、支援いただいたみなさまのおかげです。

そして今年10月10日にはサンスクエア堺において、常に10年後を考えるナイス連をお示しする記念公演を行うことが出来ました。ありがたいことです。協賛会が解散して以降、「継続すること」、「笑顔の活動を認めてもらうこと」、そして「常に明日を見つめること」のナイス連の歴史を辿る「昨日・今日・明日三部作」が完成したことをとても嬉しく思います。

### ■新しい仲間も増えて／「感謝・笑顔・ありがとうございます」

これまでもナイス連は「エイジレス」で、明るく、楽しく、前向きに（ATM）をモットーに笑顔をお届けしてきました。そして私たちは結成10周年を迎えた平成28（2016）年に事務局を設置して、以後事務局を中心に計画的に「常に10年後のナイス連」を見つめながら、毎年の活動を行ってきました。誰でもどのパートでも踊れる練習の仕方、年間通しの演目練習、定期奉納演舞の設定など、今のナイス連が徐々に形作られていきました。

その中で残念ながら去っていった仲間もいますが、新しく仲間になったメンバーも数多くいます。そしてこれからのナイス連のセンターを務めてくれる仲間も育ててくれたことがとても嬉しいことです。

私たちの仲間は年齢や経験にはとらわれず、いつ戻ってきても仲間として踊ることのできる「メモリアル倶楽部」を編成すると同時に、これからのナイス連を引っ張ってくれる次世代の仲間「スペシャリティ倶楽部」の面々が仲良く、自分達のできることをできる方法で形作っていく仲間が育てられました。

### ■堺の祭連が再び集結／次世代につながる新しい「統一踊り」

昨年末に旧協賛会副理事長の北側さんが、残る5祭連にもう一度「統一踊り」を踊って欲しいと声かけがありました。新しい世代の踊り手に踊って欲しいと21日（土）、22日（日）の二日間、仙台から川口知子さん（仙台すずめ踊り風羽里代表）を踊り指導に招いてくれました。北側さんは堺にすずめ踊りを招聘してくれた北側一雄先生の奥様で、もう一度堺にみんなで踊れるすずめ踊りが戻ってきて欲しいと考えて、若手中心の踊り勉強会を開催して、その若手が各祭連でその統一踊りを浸透させて欲しいと声掛けしてくれました。私たちもその声かけに賛同して、次世代メンバーを派遣して祭連を超えた、新しい仲間づくりができるようにしたいと思います。ナイス連の2023年は堺とともにありたいと思います。



今年もよろしくお祈りします

感謝

えがお

ありがとうございます

編集者 大塚